

「プレシディオ推進（特命）プロジェクト」の設置について

2008年3月17日

スローフードジャパン事務局

■目的と活動内容

まだ日本第一号が生まれていない「プレシディオ」について、スローフードジャパンとして味の箱舟委員会とは別の特命プロジェクトを設置し、早期に具体的な推進を行い日本のプレシディオを誕生させる事とします。このプロジェクトはS F J 理事会からの付託とします。このプロジェクトは、全国大会前に関係者から要望があった内容について、味の箱舟事務局（竹内氏）を通じて先週正式に打診があったため、先週末に理事会のメール審議により協議し、承認を受けたものです。

■チーム構成と役割 ※以下の方をお願い致します。

P J リーダー 川手督也氏

P J 事務局 黒川陽子氏

P J メンバー 中野美季氏

（※食科学大学院卒業生、執筆編集者、長期イタリア在住）

S F 長崎の雲仙こぶ高菜関係者

……今後、候補にあわせて現地メンバー等の増員があります。

■予算

年内の事務局費として10万円とします。

その他個別協議としますが、予算が厳しいためできる限り節約方向で運用をお願いします。

■当面の候補とスケジュール

最初の候補は「雲仙こぶ高菜（味の箱舟選定品）」

3月20日頃に現地打ち合わせ（上記3名+現地関係者）

4月初旬に中野氏が渡伊するので、あわせてブラ本部を訪問し、アルカ・プレシディオ事務局と具体的な協議を行いエントリーまで進める事とします。

■今後の進め方について

当連絡をもって、スローフードジャパンとしての正式なプロジェクト開始とします。

国際本部に対しては、スローフードジャパンよりこの内容とメンバーを伝えます。

中野氏が渡伊した際には、プロジェクト代表として国際本部との協議を進めていただく事となりますが、今後の計画やその進捗状況については、プロジェクト事務局よりジャパン事務局（経由で理事会）へ逐次報告（リーダーのご判断により必要に応じて確認・承認等）をお願いします。